

おはようございます。昨日の検温等返信は、150名強の生徒がきちんと反応してくれました。ありがとう。ただ、50名弱の生徒はまだ3年生になり切れていない、休業という生活に溺れていることも事実です。

昨日はたまたまだったのかどうかは、今日の結果で判明します。私たち42回生職員団には、一刻も早く100%の42回生を闘いの舞台に上げなければなりません。このメッセージが、舞台上に上がりそびれている生徒に伝わることを願います。

さて、昨日のことですが、昨年もお世話になった国語の永富先生が、唯一実施できた英語の課題実力考査に取り組む皆さんの姿を見てこんなことをおっしゃいました。「この長い臨時休業下での生徒の生活の様子が見て取れる。本当にだらだらした生活を続けていたら、あんなふうに最後まで考査に取り組む姿を保てない。その姿が、出た数値にマッチしたら良いですね。」

努力は報われるとは限らない

でも、報われる努力をしなければならない

報われていないのはもっと努力できるからだ

別の考え方もあります。できるようになった自信によって、手に入れたいレベルは上がります。だから、報われたいためにする努力の質が変わるので、まだ報われていない今がある。

自分たちが口にした成果を手にする努力をしよう。工夫をしよう。困難をチャンスにする毎日を共に過ごそう。

事務連絡

- ・起床して、朝の検温の結果等、マナビジョンに毎日送ること。

休業中を貫いている生徒へ

「そろそろ受験生として目覚めませんか？担任の先生の手を煩わすことのないように」

- ・家族を含めて深刻な症状を感じる生徒は、学校まで連絡をすること。